

LGWAN-ASP型AI-OCRサービス提供業務 調達仕様書

令和8年2月

北九州市政策局DX・AI戦略室

目次

1	件名.....	1
2	契約期間.....	1
3	要件.....	1
4	利用期間・利用数量.....	2
5	入札方法.....	2
6	契約・支払い.....	3
7	使用する端末.....	3
8	LGWAN系ネットワーク環境図.....	4
9	納入物等.....	4
10	守秘義務の確保及び情報の管理.....	4
11	その他.....	4

1 件名

L GWAN－ASP型AI－OCRサービス提供業務

2 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

3 要件

次に掲げる要件を満たすこと。

(1) 機能要件

ア 納入予定のAI－OCRサービスが、総合行政ネットワークASPアプリケーション及びコンテンツサービスとして登録されていること。

イ 手書き文字等を画像化したデータを文字として認識し、テキストデータに変換できること。

ウ 文字列の前後関係から正確な文字を判定する機能を有すること。

エ 本市が用意する手書き文字が記載された項目からなる帳票をテキストデータに変換した場合、誤読した文字が含まれる項目が一頁あたり10%以下であること（項目単位の読み取り精度が90%以上）。

なお、入札参加希望者は、本市が入札前に読み取り精度の検証を実施するために納入予定のAI－OCRサービスを一時的に利用できる環境を準備するものとし、本市は用意した帳票により読み取り精度を検証する。

オ 帳票の読み取り範囲の設定、およびデータ加工は総合行政ネットワーク内で北九州市職員が設定できること。

カ 1つの利用者IDで定義できる帳票の様式の数が無制限であること。

キ 読み取りファイルの画像形式は、pdfを必須とし、その他jpg、jpeg、png、tiff、tif、xdwのいずれか2つ以上を使用できること。

ク 読み取った画像と読み取り結果の文字を同じ画面に並べて表示し、読み取り結果の確認及び修正が行えること。

ケ 修正後のテキストデータをCSVファイル又はExcelファイルとして操作端末に保存できること。

(2) 管理機能

ア 利用者をIDで管理できること。

イ DX・AI戦略室が利用者IDの発行、削除、管理をできること。

ウ 利用者別及び利用者の所属別に利用実績を画面表示又は、レポート出力できること。なお、利用実績は、読み取りが完了した項目の数量をOCRの変換単価別に確認できなければならない。

(3) 業務継続性の担保

DX・AI戦略室で令和8年3月31日まで導入中のサービス「N a N a T s u A I - O C R w i t h D X S u i t e」内で読み取り範囲の設定が行われている帳票について、北九州市職員が再定義することなく令和8年4月1日から継続して利用できるように新サービスへ引き継げること。

(4) セキュリティ要件

ア 他のサービス利用者を含む第三者から、本市がアップロードした画像ファイル、読み取り結果ファイル等が閲覧できないこと。庁内の他の利用者ID間でも同様のセキュリティが確保されていること。

イ 本市がアップロードした画像ファイル、読み取り結果ファイル等については、利用後、一定のデータ保存期間経過後に自動で削除する機能を有すること。また、保存期間を待たずに、利用者側でデータを削除できる機能を有すること。

ウ 本市がアップロードした画像ファイル、読み取り結果ファイル等を、AIのディープラーニングによる学習等、本市の利用目的以外に使用しないこと。

(5) サポート対応

ア 本業務又は本業務に関連する事項について、本市から問合せがあった場合、電話や電子メール等で適切な回答を行うこと。

イ アプリケーションのバージョンアップは、サービス提供者の責任と費用で行うこと。なお、バージョンアップの際、メール等による連絡により発注者に通知すること。

4 利用期間・利用数量

(1) 利用期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(2) 利用数量

利用期間内の読み取り項目数(テキストボックス※) 1, 000, 000項目

利用期間内の読み取り項目数(チェックボックス※) 650, 000項目

利用期間内の読み取り項目数(空欄※) 300, 000項目

※ テキストボックス：漢字、ひらがな、カタカナ、数字等の文字が記載された項目を指す。下記、チェックボックスおよび空欄は含まない。

※ チェックボックス：該当箇所チェックマークや丸を付ける選択式の項目

※ 空欄：空欄と認識される項目

5 入札方法

(1) 入札においては、「4 利用期間・利用数量」を基に算出したLGWAN-ASP型AI-OCRサービス使用に係る総価を入札書に記入すること。

- (2) 総価とは、導入に係る費用、基本料金等の固定費及び「4(2) 利用数量」分のOCR変換費用の全てを含む金額をいう。
- (3) 総価の内訳を入札書別紙に記載し提出すること。
- (4) 総価の内訳において、OCR変換単価を入札書別紙に記載すること。
- (5) 読み取りをする文字等の種類によってOCR変換単価が異なる場合は種類ごとのOCR変換単価を入札書別紙に記載すること。

6 契約・支払い

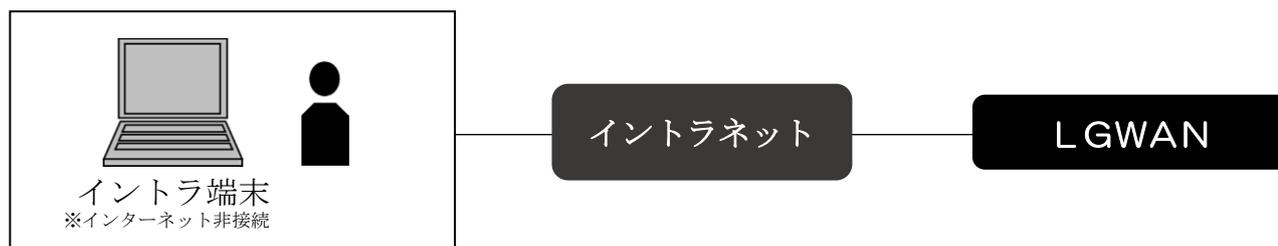
- (1) 導入に係る費用、基本料金等を固定費とする。
- (2) OCR変換費用の従量課金が発生する場合は、入札書別紙に記入した読み取り項目ごとの単価に利用終了時点での実績数量を乗じて得た金額を変動費とする。なお、基本料金等の固定費に変動費の一部ないし全部が含まれる場合、変動費からその金額分を減じる。
- (3) 契約においては固定費および変動費単価を明記し、固定費と入札書別紙に記入した読み取り項目ごとの単価に利用終了時点での実績数量を乗じて得た金額を足した金額を支払うこととする。

7 使用する端末

端末は、本市が用意する。なお、端末の仕様は以下のとおりとする。

導入年度	令和6年度	令和5年度
機種	Dynabook dynabook B55/LW	NEC VersaPro タイプ VA <VA-E>
OS	Windows11 Pro	
CPU	Intel Core i3-1315U (最大4.50GHz)	Intel Core i3-1215U (最大4.40GHz)
メモリ	8GB	
画面	15.6型ワイド LEDバックライト付TFTカラー液晶 (最大解像度：1,366×768ドット)	
SSD	約256GB	
Microsoft Office	現行Office 2021 (Word・Excel・PowerPoint・Access) 令和8年度中に順次、Microsoft365 64bit apps for enterpriseへ移行予定	
ブラウザ	Microsoft Edge	
ネットワーク	LWAN ※インターネット接続不可	

8 LGWAN 系ネットワーク環境図



本庁・各区役所・出張所等

9 納入物等

(1) 納入物

AI-OCRサービスの利用開始前までに、操作マニュアルの電子データを提出すること。

(2) 納品先

北九州市政策局DX・AI戦略室

10 守秘義務の確保及び情報の管理

受託者は、本業務を遂行するにあたって知り得た情報を、市の書面による承諾を得ることなくその目的外に使用し、または第三者に提供し、若しくは利用させてはならない。また、受託者は本業務の履行上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約終了後も、同様とする。

11 その他

- (1) この契約は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の3の規定による長期継続契約であるため、本契約締結日の属する年度の翌年度以降において、歳出予算の該当金額について減額又は削除があった場合、発注者は、この契約を変更し又は解除することができる。
- (2) 本仕様書に定めのない事項又は業務上疑義が生じた場合は、市と受託者が協議の上、決定する。